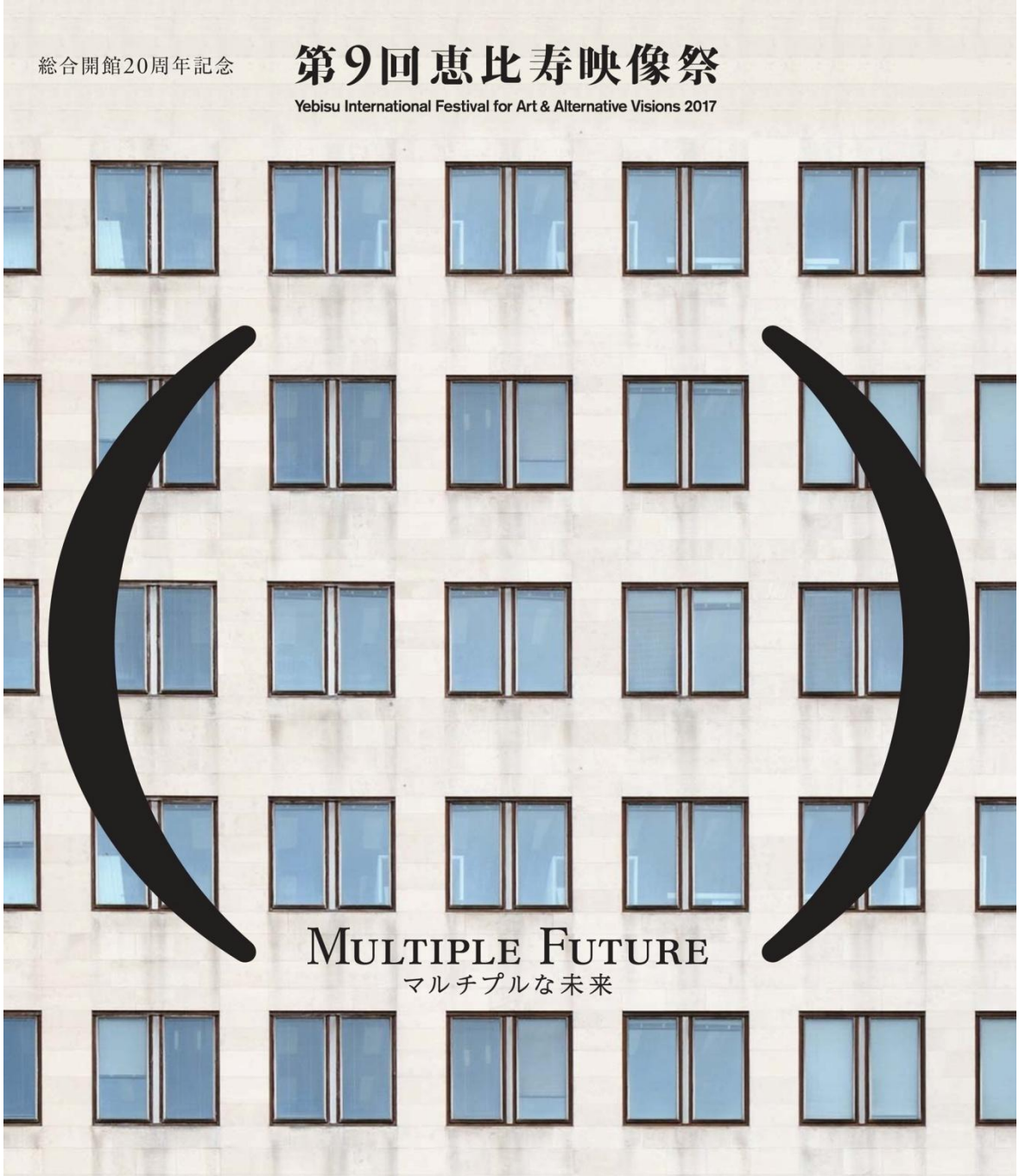
PRESS RELEASE

2016年 12月吉日

第９回恵比寿映像祭　マルチプルな未来　プレスリリース Vol.02

東京文化プログラム



平成29（2017）年2月10日（金）～2月26日（日）

［15日間・月曜休館／10:00～20:00 ※最終日18:00まで／入場無料（定員制のプログラムは有料）］

会場｜東京都写真美術館／日仏会館／ザ・ガーデンルーム／

恵比寿ガーデンプレイス センター広場／地域連携各所 ほか

東京都写真美術館
TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

詳細プログラム決定版！！！

目次

目次／恵比寿映像祭とは　…　2

開催概要／会場構成　…　3

第9回総合テーマ ｜マルチプルな未来　…　4

参加作家およびゲスト一覧　…　5-6

第9回恵比寿映像祭｜トピックス　…　7-8

テーマ「マルチプルな未来」を読み解く5つの視点　…　9-10

出品作家およびプログラム一覧
展示（東京都写真美術館3階、2階、地下1階展示室）…　11-12
上映（東京都写真美術館1階ホール）…　13-14
上映（同上）、展示（日仏会館ギャラリー）、シンポジウム（日仏会館ホール）…　15
オフサイト展示（恵比寿ガーデンプレイス センター広場）、ライヴ・イヴェント（ザ・ガーデンルーム）…　16
シンポジウム（東京都写真美術館1階ホール）、レクチャー（東京都写真美術館1階スタジオ）…　17

ラウンジトーク（東京都写真美術館2階ロビー）／ガイドツアー　…　18

地域連携プログラム（恵比寿周辺文化施設およびギャラリー）　…　19

定員制プログラムのチケット情報について／プレスお問い合わせ　…　20

恵比寿映像祭とは

恵比寿映像祭とは年に一度、東京・恵比寿の地で、展示、上映、ライヴ・イヴェント、トーク・セッション等を複合的に行い、映像分野における創造活動の活性化と、優れた映像表現やメディアの発展を、過去から現在、そして未来へといかに継承していくかという課題について、あらためて問い直し、対話を重ね、広く共有する場となることを目指す、ユニークなフェスティヴァルです。

http://www.yebizo.com

恵比寿映像祭
Yebisu International Festival for Art & Alternative Visions

○恵比寿映像祭は、「東京文化プログラム」の一環として実施します。

開催概要

名称:　第9回恵比寿映像祭　マルチプルな未来

会期:　平成29(2017)年2月10日(金)～2月26日(日)［15日間・月曜休館］
会場:　東京都写真美術館、日仏会館、ザ・ガーデンルーム、恵比寿ガーデンプレイス センター広場、地域連携各所 ほか
時間:　10:00～20:00
＊ただし最終日 平成29(2017)年2月26日(日)のみ18:00まで

料金:　入場無料
※定員制のプログラム(上映、ライヴ、レクチャーなど)は有料

主催:　東京都／東京都写真美術館・アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)／日本経済新聞社
共催:　サッポロ不動産開発株式会社／公益財団法人日仏会館
後援:　オーストリア大使館・オーストリア文化フォーラム／ **TBS** ／J-WAVE 81.3FM
協賛:　ANA／オーストラリア大使館／サッポロビール株式会社／東京都写真美術館支援会員
協力:　KyotoDU／ぴあ株式会社／ドゥービー・カンパニー株式会社／株式会社トリプルセブン・インタラクティブ／株式会社ロボット

会場構成

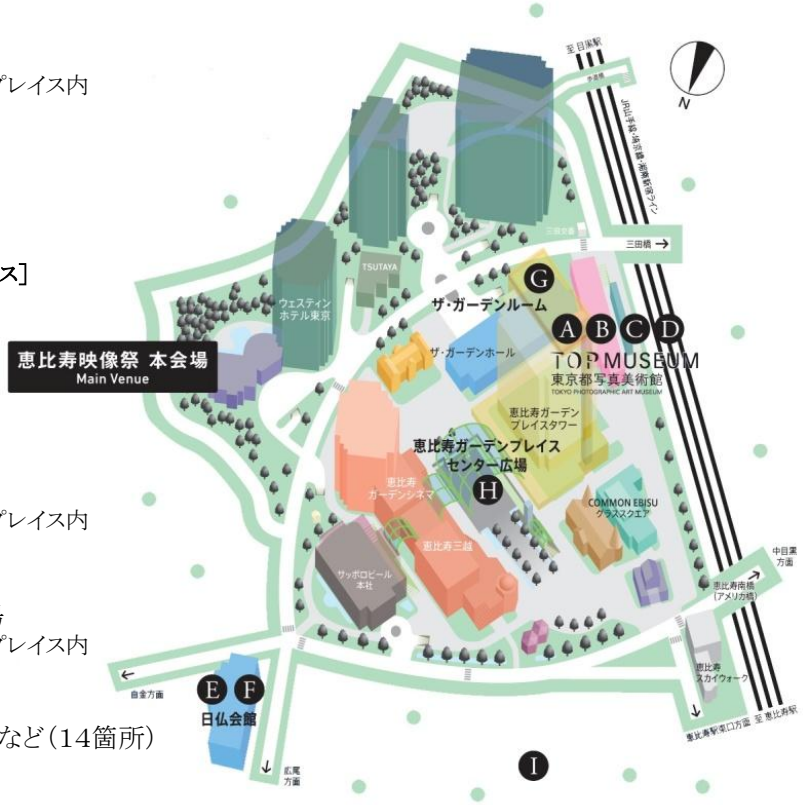
●東京都写真美術館
東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
(A)　3階、2階、地下1階　展示室:
［展示］［展示関連パフォーマンス］
(B)　1階ホール:［上映］［シンポジウム］
(C)　1階スタジオ:［レクチャー］
(D)　2階ロビー:
［ラウンジトーク］［展示関連パフォーマンス］

●日仏会館
東京都渋谷区恵比寿3-9-25
(E)　ギャラリー:［展示］
(F)　ホール:［シンポジウム］

●ザ・ガーデンルーム
東京都目黒区三田1-13-2 恵比寿ガーデンプレイス内
(G)　［ライヴ・イヴェント］

●恵比寿ガーデンプレイス センター広場
東京都渋谷区恵比寿4-20 恵比寿ガーデンプレイス内
(H)　［オフサイト展示］

●恵比寿地域文化施設およびギャラリーなど(14箇所)
(I)　［地域連携プログラム］



第9回総合テーマ｜マルチプルな未来

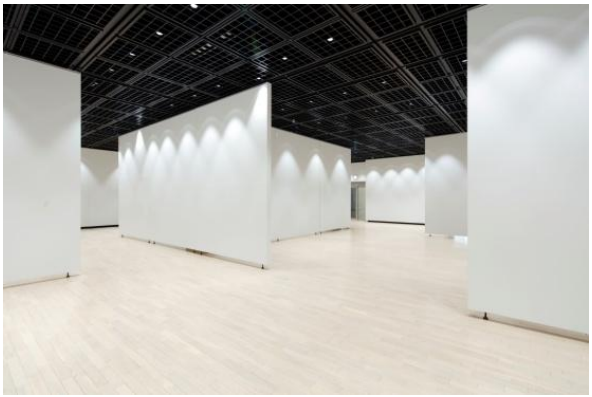
映像やメディア技術の発達は、世界の見え方を変えるだけでなく、わたしたちの身体やそれをとりまく社会のあり方にも少なからず影響を与えてきました。

複数の他者と同時に接続可能となったグローバルな情報ネットワーク社会。そこでは、不特定多数との情報共有や自由な増殖・派生を前提とした新しい創造の形が生まれる一方で、個々人のあり方や関係性もまた大きく変質しています。

複製可能であること、マルチプルに（同時に多数）存在すること。それはオリジナルだったはずのものへの疑問符となります。マルチプルな（多くの部分や要素が織りなす）営みの果てに、「未来」は刻々と形作られています。「未来」は既にわたしたちの中でも起こっているのです。

第9回恵比寿映像祭では、「マルチプルな未来」を総合テーマに、複製技術をともなう映像の特質と、その発達とともに個人や社会にもたらされている変化が指し示すものについて考えたいと思います。

恵比寿映像祭ディレクター　岡村恵子



（すべて東京都写真美術館の外観・内館写真）

第9回恵比寿映像祭は、平成28年9月にリニューアル・オープンした東京都写真美術館の空間をあますことなく活用して開催いたします。そのほか、日仏会館、ザ・ガーデンルーム、恵比寿ガーデンプレイス センター広場、地域連携各所が会場となります。

参加作家およびゲスト一覧

18の国と地域から93名の作家およびゲストが参加

［平成28(2016)年12月9日時点］

参加部門	参加作家およびゲスト		国（地域）	
展示／ラウンジトーク	森村泰昌	MORIMURA Yasumasa	日本	Japan
展示／ラウンジトーク	レイ・レイ	LEI Lei	中国	China
展示／ラウンジトーク	澤田知子	SAWADA Tomoko	日本	Japan
展示／オフサイト／ラウンジトーク	金氏徹平	KANEUJI Teppei	日本	Japan
展示／パフォーマンス	笹本晃	SASAMOTO Aki	日本	Japan
展示／パフォーマンス	ガブリエラ・マンガノ＆シルヴァーナ・マンガノ	Gabriella MANGANO & Silvana MANGANO	オーストラリア	Australia
展示	エティエンヌ=ジュール・マレー	Étienne-Jules MAREY	フランス	France
展示	ズビグ・リプチンスキー	Zbig RYBCZYNSKI	ポーランド／アメリカ	Poland/U.S.A.
展示／ラウンジトーク	石川卓磨	ISHIKAWA Takuma	日本	Japan
展示	オープンエンデッドグループ	OpenEndedGroup	アメリカ	U.S.A.
展示	ビル・T・ジョーンズ	Bill T. JONES	アメリカ	U.S.A.
展示／ラウンジトーク	鋈利子	TAKASHI Toshiko	日本	Japan
展示／ラウンジトーク	豊嶋康子	TOYOSHIMA Yasuko	日本	Japan
展示	ルーシー・レイヴン	Lucy RAVEN	アメリカ	U.S.A.
展示／シンポジウム	コルネリア・ゾルフランク	Cornelia SOLLFRANK	ドイツ	Germany
展示	フォレンジック・アーキテクチャー	Forensic Architecture	イギリス	U.K.
展示／ラウンジトーク	ロバート・ノース	Robert KNOTH	オランダ	The Netherlands
展示／ラウンジトーク	アントワネット・デ・ヨング	Antoinette DE JONG	オランダ	The Netherlands
ラウンジトーク／地域連携	荒木博志	ARAKI Hiroshi	日本	Japan
ラウンジトーク／地域連携	岡田邦雄	OKADA Kunio	日本	Japan
ラウンジトーク／地域連携	佐々木聖	SASAKI Sho	日本	Japan
（オフサイト）／ラウンジトーク	木ノ下智恵子	KINOSHITA Chieko	日本	Japan
上映	フィオナ・タン	Fiona TAN	オランダ	The Netherlands
上映Q＆A	山田裕理	YAMADA Yuri	日本	Japan
上映／上映Q＆A	マヌ・ルクシュ	Manu LUKSCH	オーストリア／イギリス	Austria/U.K.
上映	マルティン・ラインハルト	Martin REINHART	オーストリア	Austria
上映	トーマス・トーデ	Thomas TODE	ドイツ	Germany
上映	ナンシー・D・ケイツ	Nancy D. KATES	アメリカ	U.S.A.
上映／上映Q＆A	長谷川億名	HASEGAWA Yokna	日本	Japan
上映	バスター・キートン	Buster KEATON	アメリカ	U.S.A.
上映	エレイン＆ソール・バス	Elaine and Saul BASS	アメリカ	U.S.A.
上映／上映Q＆A	鈴木了二	SUZUKI Ryoji	日本	Japan
上映／上映Q＆A	三宅唱	MIYAKE Sho	日本	Japan
上映／上映Q＆A	降矢聡	FURUYA Satoshi	日本	Japan
上映	ガイ・シャーウィン	Guy SHERWIN	イギリス	U.K.
上映	エステル・ウルルス	Esther URLUS	オランダ	The Netherlands
上映	ヘルガ・ファンダール	Helga FANDERL	ドイツ	Germany
上映	インニエル・リーセ・ハンセン	Inger Lise HANSEN	ノルウェー	Norway
上映／上映Q＆A／ライヴ	リン・ルー	Lynn LOO	シンガポール／イギリス	Singapore/U.K.
上映	サイモン・ペイン	Simon PAYNE	イギリス	U.K.
上映	バーバラ・ミーター	Barbara METER	オランダ	The Netherlands
上映	メグ・スチュアート	Meg STUART	アメリカ	U.S.A.
上映	ピエール・クーリブフ	Pierre COULIBEUF	フランス	France
上映	クレア・カニングハム	Claire CUNNINGHAM	イギリス	U.K.
上映	デール・コーレット	Dale CORLETT	イギリス	U.K.
上映	ロニ・アズガド	Roni AZGAD	イスラエル	Israel
上映	バットシェバ舞踊団	Batsheva Dance Company	イスラエル	Israel
上映	アディ・ハルフィン	Adi HALFIN	イスラエル	Israel
上映	バットシェバ・アンサンブル・ダンサーズ	Batsheva Ensemble Dancers	イスラエル	Israel
上映	ミン・ウォン	Ming WONG	シンガポール／ドイツ	Singapore/Germany
上映	ハリル・アルティンドレ	Halil ALTINDERE	トルコ	Turkish
上映	マリ・ラツェル	Mali LAZELL	ドイツ／スイス	Germany/Switzerland
上映	アードリアン・キュンツェル	Adrian KÜNZEL	ドイツ	Germany
上映Q＆A	中島那奈子	NAKAJIMA Nanako	日本	Japan

参加作家およびゲスト一覧

参加部門	参加作家およびゲスト		国（地域）	
上映	見里朝希	MISATO Tomoki	日本	Japan
上映	テオ・ジァミン・ジェレミー	TEO Jia Ming Jeremy	シンガポール	Singapore
上映	ファン・ジ	HUANG Ji	シンガポール	Singapore
上映	フン・ウィーキアット・デリック	FUN Wee Kiat Derrick	シンガポール	Singapore
上映	チョウ・チィン ※	CHOW Qing	中国	China
上映	ナイン・モンキーズ・ワークショップ ※	Nine Monkeys Workshop	香港	Hong Kong
上映	岡崎恵理	OKAZAKI Eri	日本	Japan
上映	カン・ミンジ	KANG Minji	韓国	Korea
上映	コロリー	COLORY	ベトナム	Vietnam
上映	木下絵李	KINOSHITA Eri	日本	Japan
上映	キム・ソンミン	KIM Seongmin	韓国	Korea
上映／上映Q＆A	姫田真武	HIMEDA Manabu	日本	Japan
上映Q＆A	山田亜樹	YAMADA Aki	日本	Japan
上映	イヴォンヌ・レイナー	Yvonne RAINER	アメリカ	U.S.A.
上映	ロバート・クレーマー	Robert KRAMER	アメリカ	U.S.A.
上映／上映Q＆A	富田克也	TOMITA Katsuya	日本	Japan
上映／上映Q＆A	相澤虎之助	AIZAWA Toranosuke	日本	Japan
展示／上映	空族	Kuzoku	日本	Japan
展示	スタジオ石	Studio Ishi	日本	Japan
シンポジウム	久保田晃弘	KUBOTA Akihiro	日本	Japan
シンポジウム	八田真行	HATTA Masayuki	日本	Japan
シンポジウム	松山ひとみ	MATSUYAMA Hitomi	日本	Japan
シンポジウム	真喜屋力	MAKIYA Tsutomu	日本	Japan
シンポジウム	三好大輔	MIYOSHI Daisuke	日本	Japan
レクチャー	松井みどり	MATSUI Midori	日本	Japan
レクチャー	外山紀久子	TOYAMA Kikuko	日本	Japan
レクチャー	武藤大祐	MUTO Daisuke	日本	Japan
レクチャー	新田啓子	NITTA Keiko	日本	Japan
レクチャー	菅野優香	KANNO Yuka	日本	Japan
シンポジウム	小松弘	KOMATSU Hiroshi	日本	Japan
シンポジウム	岡田秀則	OKADA Hidenori	日本	Japan
シンポジウム	上田学	UEDA Manabu	日本	Japan
シンポジウム	岡 眞理子	OKA Mariko	日本	Japan
ライヴ	入手杏奈	IRITE Anna	日本	Japan
ライヴ	恩田晃	ONDA Aki	日本	Japan
ライヴ	山崎広太	YAMAZAKI Kota	日本	Japan
ライヴ	宇治野宗輝	UJINO	日本	Japan

※作家の意向により、プログラムチラシから表記を改訂させて頂きました。［2016.12.09現在］

※出品作品および出品作家など内容については、変更する場合があります。予めご了承ください。

第9回恵比寿映像祭｜トピックス

トピックス①｜リニューアル・オープンした東京都写真美術館の全館を使って、展示・上映・パフォーマンスほか盛りだくさんの内容をお届けします。

平成28年9月にリニューアル・オープンした東京都写真美術館。光をふんだんに取り入れた空間に一新された美術館全館をあますことなく使って、展示・展示関連パフォーマンス・上映・シンポジウム・レクチャーなどを展開します。大型スクリーンが設置された2階ロビーでは、**ガブリエラ・マンガノ＆シルヴァーナ・マンガノ**の映像作品**《そこはそこにない》**を展示します。また、関連パフォーマンスとして、時事的ニュースが生身の身体を介した動作やジェスチャー、音響とともに繰り広げられます。ダイナミックな空間表現をお楽しみください。

1

トピックス②｜舞台や音楽、文学の領域でも活躍する金氏徹平が、公共空間に表すマルチプル・ワールドとは？自身初の屋外作品がお目見えします。

東京都写真美術館に隣接する恵比寿ガーデンプレイスのパブリックスペース、センター広場では、マルチタスクの実践者、**金氏徹平**が自身初の屋外大型作品を出品します。テーマ「マルチプルな未来」を読み解き、かつて娯楽の主役であった遊園地の遊具たちを、再び表舞台に登場させ、センター広場に“公園”を出現させます。遊び方の主流がデジタル志向へとパラダイムシフトする昨今、金氏流公園がどのような世界観でお目見えするのでしょうか。

2

トピックス③ ｜森村泰昌や澤田知子らをイントロダクションにはじまる展示。それぞれの「マルチプル」とは？

自身をキャンバスに、変幻自在に繰り広げられる**森村泰昌**ワールドにはじまり、**澤田知子**が扮するどこかにいそうな「わたし」の連続による記号ワールド。それぞれのマルチプルを探すことで、テーマ「マルチプルな未来」の連なりを読み解くことができるのではないでしょうか。また、アニメーションの原点ともいえる、**エティエンヌ=ジュール・マレー《題不詳（投げる男性）》**からは、映像は多数のコマにより動きがつくられること、すなわち、映像はマルチプルであることも見えてくることでしょう。

3

トピックス④｜フィオナ・タンの新作長編ほか見逃せないジャパンプレミア作品3本に加え、《サウダーヂ》の空族・富田克也監督の最新作《バンコクナイツ》など、国内若手新進作家による作品を多数上映。

現代美術作家**フィオナ・タン**初の長編劇映画**《歴史の未来》**、**マヌ・ルクシュ、マルティン・ラインハルト、トーマス・トーデ**による映像やメディアの技術的ユートピアをテーマとするエッセイ・フィルム**《ドリームズ・リワイヤード》**、**ナンシー・D・ケイツ**によるドキュメンタリー作品**《スーザン・ソンタグについて》**をジャパンプレミア上映します。そのほか、映像制作集団空族・**富田克也**監督の**《バンコクナイツ》**（第69回ロカルノ映画祭「若手審査員・最優秀作品賞」受賞）や、新進映像作家**長谷川億名**のSFフィクション**「日本零年」シリーズ**を上映。国内若手新進作家に注目です。

4

1. ガブリエラ・マンガノ＆シルヴァーナ・マンガノ《そこはそこにない》2015、シングルチャンネル・ヴィデオ、作家蔵 courtesy of Anna Schwartz Gallery, Melbourne／ 2. 金氏徹平《White Discharge（公園）》（オフサイト展示に向けた新作のイメージ） 2016／ 3. 森村泰昌《銃を持つ私／ウォーホルに捧げる》1998、シングルチャンネル・ヴィデオ、作家蔵 courtesy of Yoshiko Isshiki Office, Tokyo／ 4. 富田克也《バンコクナイツ》2016

第9回恵比寿映像祭｜トピックス

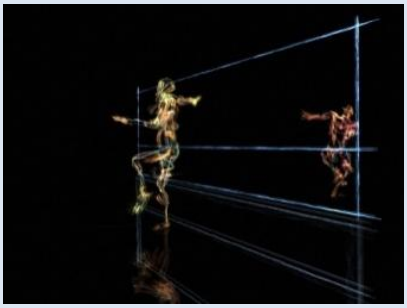
トピックス⑤｜映像の〈デジタル・アーカイヴ〉〈コモンズ〉の各論シンポジウムや、映画上映と連動した、イヴォンヌ・レイナーやスーザン・ソンタグの足跡を辿るレクチャーも開催。展示や上映作品の背景を掘り下げます。

5

映像の著作権という法を守ることと、貴重な作品や記録を未来に残し共有する行為の間には、ときに相反する理念が錯綜します。それらが「どうありうるべきなのか」という視点に基づいた議論を行うことで見えてくる課題にフォーカスします。

また上映プログラムに関連して、ポストモダンダンスの振付家**イヴォンヌ・レイナー**やアメリカを代表する知識人・活動家**スーザン・ソンタグ**の足跡を辿るレクチャーも開催。展示や上映作品との連なりやその背景、周辺領域などにも分け入りセッションしていきます。

トピックス⑥｜ゆらぐ身体の動きをどう捉えるのか？消えゆく身体をどう記録するのか？身体のマルチプル性について映像の観点から考えます。



6

今回の恵比寿映像祭には、身体にまつわる作品が数多く登場します。ゆらぐ身体の運動をどう捉えるかという問いに、映像やデジタル・テクノロジーを用いて考えることが可能です。**オープンエンデッドグループ＆ビル・T・ジョーンズ**は、振付家・ダンサー、ジョーンズの動きと声をモーションキャプチャーを用いて作成した3Dインスタレーション《**アフター・ゴーストキャッチング**》を出品します。そのほか、**笹本晃**、**ガブリエラ・マンガノ＆シルヴァーナ・マンガノ**、**崟利子**による展示作品、**中島那奈子**のダンス上映プログラムほか、身体と映像記録に関わる作品を紹介します。

トピックス⑦｜アナログ感満載のクロスオーヴァー・ライヴから感じられるパースペクティヴとは？

7

今回もザ・ガーデンルームを会場としてライヴ・イヴェントが繰り広げられます。複数台の16ミリフィルム映写機をあやつり、イメージをライヴで生み出す**リン・ルー**。伸びやかな肢体でスリリングな表現を繰り出す新世代ダンサー、**入手杏奈**。カセットテープの記録音源やリアルタイムのラジオ音源をクロスオーヴァーさせる**恩田晃**。外的スイッチの切替えによって自在に変幻する**山崎広太**の即興舞踊。機械仕掛けのバンドによるライヴを展開する**宇治野宗輝**。ツワモノたちが用いるのは、全て今や「アナログ」といわれてしまう何かかもしれませんが、表現の広がりを感じていただく機会となることでしょう。

トピックス⑧｜「山口情報芸術センター[YCAM]」や「おおさか創造千島財団」、「TBS/DigiCon6 ASIA」、「TPAM−国際舞台芸術ミーティング in 横浜」などの国内外の組織や フェスティヴァルとリンク。さらに地域プロジェクトを発信します。

8

恵比寿映像祭が映像表現に関するプラットフォームとして更に機能するため、企画制作において国内外の様々な関係組織とリンクしていきます。上映作品《バンコクナイツ》をもとにしたインスタレーション展示の恵比寿映像祭ヴァージョン（会場：日仏会館ギャラリー）は、「**山口情報芸術センター[YCAM]**」の制作支援を得て実現します。金氏徹平の作品制作では「**おおさか創造千島財団**」のスタジオ支援など、多岐にわたる組織とのネットワークを深めます。また地域連携発信もさらに展開していく予定です。

5．コルネリア・ゾルフランク《持たないものを与えること》（展示風景、ヴュルテンベルギッシャー芸術協会、シュトゥットガルト）2014／6．オープンエンデッドグループ＆ビル・T・ジョーンズ《アフター・ゴーストキャッチング》2010、3Dヴィデオ、作家蔵／7．©UJINO 2016 Photo: Yanagihara Photo Office courtesy of YAMAMOTO GENDAI／8．山口情報芸術センター［YCAM］

テーマ「マルチプルな未来」を読み解く5つの視点

視点1｜マルチプルな「わたし」

多様なアイデンティティを生きる／「わたし」のゆらぎ

「わたし」とはひとつのものなのか―。たとえば、ソーシャルメディアで発信する際、多くの人がそうした問いを意識しているのではないでしょうか。多様なアイデンティティを生きることや、「わたし」という存在のゆらぎについて考えます。

●［上映］**フィオナ・タン**は、初の長編劇映画で、記憶を失った主人公の旅をたどり、危機に揺れる西欧の混沌とした現在を描き出します。

●［上映］著述家、活動家などの顔を持つスーザン・ソンタグの生涯を、私生活やセクシャリティにも目を向けて描写した、**ナンシー・D・ケイツ**監督によるドキュメンタリーを上映します。

●［展示］**豊嶋康子**による空間体験型の展示では、「見ること」の前提となる光の変化が、世界の見え方をいかに変えるかを示します。

1

2

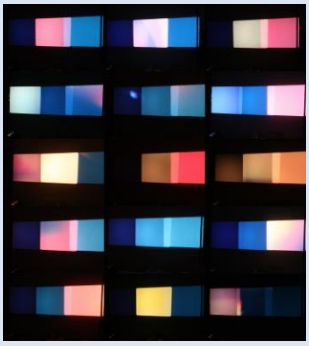
視点2｜マルチプルな視点、マルチプルな時間

映像の反復／多元的な時間・歴史

イメージの「反復」は、美術や映画の分野で重要なキーワードです。映像の反復の中に、多元的な時間や歴史を感じることができます。

●［展示］**ズビグ・リプチンスキー**のアカデミー賞受賞作《タンゴ》では、アナログの合成技術により、ひとつの部屋のなかで複数の時間が重ねられます。

●［上映／ライヴ・イヴェント］**リン・ルー**は、複数のフィルム映写機を用いたパフォーマンスを行います。また、上映プログラマーとしてヨーロッパの実験映像を紹介します。


3

4

視点3｜複製とともに生きる―社会と個人

複製による流通／記号・イメージ

写真や映像を手軽に複製し、扱えるようになった昨今、イメージの氾濫が日常的な風景となっています。美術作品をめぐってもオリジナルと複製についての議論があるなか、複製とともに生きる社会と個人について見つめます。

●［展示］**澤田知子**は、少しずつ違うおびただしい数のセルフ・ポートレイト写真で、個人が記号化される時代を体現します。

●［展示］気鋭の映像作家、**レイ・レイ**は、古い書籍カヴァーをモチーフにしたアニメーションで、複製技術としての印刷・出版物と現代の映像とをつなぎます。

●［展示／展示関連パフォーマンス］**笹本晃**は、インスタレーション／パフォーマンスで、グローバルな時代の生活を、俯瞰する鳥の視点と地を這う虫の視点両方から寓意的に描きます。

●［上映］アーティストや研究者によるユニット、**マヌ・ルクシュ、マルティン・ラインハルト、トーマス・トーデ**は、今日の超高度化したメディア社会の種を、電話、テレビ、映画の誕生からたどる、技術革新によるユートピアに関するエッセイ・フィルムを発表します。

5

6

1. フィオナ・タン《歴史の未来》2015／2. 豊嶋康子《色調補正-1》（公開制作、府中市美術館）2005、インスタレーション、作家蔵［参考図版］／3. リン・ルー《エンド・ロール》2009－［参考図版］／4. 澤田知子《Facial Signature》2015［部分］、発色現像方式印画、田口アートコレクション蔵／5. レイ・レイ《本の上の本》2013－、マルチチャンネル・ヴィデオ・インスタレーション、書籍、作家蔵／6. 笹本晃《デリケート・サイクル》のための習作イメージ、2016［参考図版］courtesy of Take Ninagawa, Tokyo

テーマ「マルチプルな未来」を読み解く5つの視点

視点4｜マルチプルに「わたしたち」

共同制作／コモンズ／グローバル化の様態

メディア技術の発達は、新しい情報共有のかたちを生みだしています。グローバルな情報ネットワーク環境で、新しい文化がどのように創出されるのかを問いかけます。

●［展示／シンポジウム］先駆的ネット・アーティスト、**コルネリア・ゾルフランク**による、「コモンズ」（共有）についてのリサーチを紹介します。

●［展示］**ロバート・ノース＆アントワネット・デ・ヨング**は、グローバル化した経済圏の構造の表と裏をたどるインスタレーションを発表します。

●［展示］NGOや人権団体の依頼を受けて活動するグループ、**フォレンジック・アーキテクチャー**は、都市部における紛争や移民問題などを、地理的・建築的なアプローチによって調査し、分析を行っています。

7

8

視点5｜映像のマルチプルと「身体」

ドキュメンタリーの技法
映像による身体運動の記録・複製・伝達
複製可能性、記号化、デジタル化と身体性

ダンスなどの一回限りの出来事をどのように記録することができるのか、また、身体技法をどのように残し、伝えることができるのか。身体を介した映像／メディアをめぐる課題を考えます。

●［展示］**石川卓磨**は、ダンサーの身体を、写真と動画の組み合わせで提示。メディアの特性と映像による記録・記述の本質を問います。

●［展示］**ガブリエラ・マンガノ＆シルヴァーナ・マンガノ**の、群像がポーズや動作でメッセージを伝達する映像作品は、ソ連で普及した「ニュース演劇」に触発されたものです。

●［展示］**崟利子**は、日本を代表する振付家・ダンサーのひとり、黒沢美香の姿を、黒沢の代表作《Wave》になぞらえて追う、詩的なドキュメンタリーを発表します。

9

10

11

7．コルネリア・ゾルフランク《持たないものを与えること》（マルセル・マースほかへのインタヴューを含むアーティスティック・リサーチ）2012- ／8．ロバート・ノース＆アントワネット・デ・ヨング《ポピー：アフガン・ヘロインをたどって》2012、4チャンネル・ヴィデオ・インスタレーション、作家蔵／9．フォレンジック・アーキテクチャー《ラファ 黒い金曜日》2015［複合画像］、作家蔵 ／10．石川卓磨《教えと伝わり》2016、インスタレーション、作家蔵 courtesy the artist and Talion Gallery／11．崟利子《Wave 踊る人》（仮）2016、シングルチャンネル・ヴィデオ、作家蔵

展示｜東京都写真美術館｜3階、2階、地下1階展示室

1　森村泰昌
MORIMURA Yasumasa
《銃を持つ私／ウォーホルに捧げる》1998／
シングルチャンネル・ヴィデオ／作家蔵
Courtesy of Yoshiko Isshiki Office, Tokyo

1

2　レイ・レイ
LEI Lei
《本の上の本》2013-／
マルチチャンネル・ヴィデオ・インスタレーション、書籍／作家蔵

2

3　澤田知子
SAWADA Tomoko
《Facial Signature》2015［部分］／発色現像方式印画／
田口アートコレクション蔵

3

4　金氏徹平　●
KANEUJI Teppei
《White Discharge（建物のように積み上げたもの/北京）》2013／
石膏、卓球台、プラスチック製品など／作家蔵［参考図版］

4

5　笹本晃　●
SASAMOTO Aki
《デリケート・サイクル》のための習作イメージ、2016［参考図版］
Courtesy of Take Ninagawa, Tokyo

5

6　ガブリエラ・マンガノ＆シルヴァーナ・マンガノ　●
Gabriella MANGANO & Silvana MANGANO
《そこはそこにない》2015／シングルチャンネル・ヴィデオ／作家蔵
Courtesy of Anna Schwartz Gallery, Melbourne

6

7　エティエンヌ=ジュール・マレー
Étienne-Jules MAREY
《題不詳（投げる男性）》1885－1890／クロノフォトグラフィ／
東京都写真美術館蔵

7

8　ズビグ・リプチンスキー
Zbig RYBCZYNSKI
《タンゴ》1980／シングルチャンネル・ヴィデオ（オリジナル:35ミリフィルム）／作家蔵

8

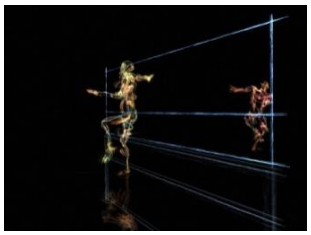
●オフサイト会場での展示あり
●展示室での関連パフォーマンスあり（有料・入場整理番号付）
●2階ロビーでの関連パフォーマンスあり（無料）

展示｜東京都写真美術館｜3階、2階、地下1階展示室

9　石川卓磨
ISHIKAWA Takuma
《教えと伝わり》2016／インスタレーション／作家蔵
Courtesy the artist and Talion Gallery

9

10　オープンエンデッドグループ＆ビル・T・ジョーンズ
OpenEndedGroup & Bill T. JONES
《アフター・ゴーストキャッチング》2010／3Dヴィデオ／作家蔵


10

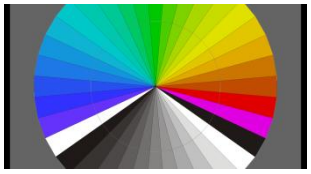
11　崟利子
TAKASHI Toshiko
《Wave 踊る人》(仮)2016／シングルチャンネル・ヴィデオ／作家蔵

11

12　豊嶋康子
TOYOSHIMA Yasuko
《色調補正-1》(公開制作、府中市美術館)2005／インスタレーション／作家蔵[参考図版]
Photo: Daisuke Awata

12

13　ルーシー・レイヴン
Lucy RAVEN
《RP47》2012／作家蔵


13

14　コルネリア・ゾルフランク
Cornelia SOLLFRANK
《持たないものを与えること》(マルセル・マースほかへのインタヴューを含むアーティスティック・リサーチ)2012－

14

15　フォレンジック・アーキテクチャー
Forensic Architecture
《ラファ 黒い金曜日》2015[複合画像]／作家蔵

15

16　ロバート・ノース＆アントワネット・デ・ヨング
Robert KNOTH & Antoinette DE JONG
《ポピー：アフガン・ヘロインをたどって》2012／
4チャンネル・ヴィデオ・インスタレーション／作家蔵

16

上映｜東京都写真美術館｜1階ホール

1　フィオナ・タン《歴史の未来》ジャパンプレミア　●
■フィオナ・タン《歴史の未来》2015／95 分／英語（日本語字幕付）

1

2　相互接続への夢――
《ドリームズ・リワイヤード》ジャパンプレミア　●
■マヌ・ルクシュ、マルティン・ラインハルト、トーマス・トーデ
《ドリームズ・リワイヤード》
2015／85分／英語（日本語字幕付）
Still: Achtung! Achtung! Ein Film vom Deutschen Rundfunk (Germany 1929)

2

3　《スーザン・ソンタグについて》――
マルチプルな私を生きる ジャパンプレミア
■ナンシー・D・ケイツ《スーザン・ソンタグについて》
2014／100分／英語（日本語字幕付）

3

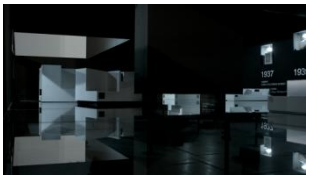
4　「日本零年」vol.1《イリュミナシオン》
――長谷川億名特集　●
■長谷川億名《イリュミナシオン》
2014／61分／日本語（英語字幕付）

4

5　「日本零年」vol.2《DUAL CITY》
――長谷川億名特集　●
■長谷川億名《DUAL CITY》
2015／100分／日本語（英語字幕付）

5

6　ガレキあるいはSF　●
□バスター・キートン《文化生活一週間》
1920／22分／英語（日本語字幕付）
□エレイン＆ソール・バス《Quest》
1984／30分／英語（日本語字幕付）
■鈴木了二×三宅唱
《物質試行58 A RETURN OF BRUNO TAUT 2016》
2016／20分
協力：金沢21世紀美術館
【プログラマー：降矢聡（映画批評、映像企画）】


6

●Q&A付上映回あり。

※各図版キャプションは■印の通り

上映｜東京都写真美術館｜1階ホール

7

7 ヨーロッパからの実験映画：「制作年なし。」 ●

□ガイ・シャーウィン《柵》9分30秒
□エステル・ウルルス《赤い風車》5分
□ヘルガ・ファンダール《少女》2分
□ヘルガ・ファンダール《噴水》3分25秒
□ガイ・シャーウィン《フィルターの層》9分
□インニエル・リーセ・ハンセン《野を進む》9分
□リン・ルー《エンド・ロール2》8分30秒
□サイモン・ペイン《ヴァイスヴェルサ エトセトラ》10分
■バーバラ・ミーター《ストレット》6分
【プログラマー：リン・ルー
（アーティスト、BFIフィルム・コンサヴェーション・スペシャリスト）】

8

8 ダンスのマルチプルな未来 ●

□メグ・スチュアート、ピエール・クーリブフ《サムウェア・イン・ビトゥイーン》2005／55分
□クレア・カニングハム、デール・コーレット《似ていること》2014／3分10秒
□ロニ・アズガド、バットシェバ舞踊団《ザ・ホール》2013／1分7秒
□アディ・ハルフィン、バットシェバ・アンサンブルダンサーズ《ホームアローン》2013／1分43秒
■ミン・ウォン《コンタクトホープ》2010／22分
□ハリル・アルティンドレ《ホームランド》2016／10分
□マリ・ラツェル、アードリアン・キュンツェル《煙に覆われた戦士》2014／2分53秒
【プログラマー：中島那奈子（ダンス研究者）】

9

9 DigiCon6 ASIA
――ショートムービーから見えてくるマルチプルなアジア ●

□見里朝希《あたしだけをみて》2016／7分30秒
□テオ・ジァミン・ジェレミー、ファン・ジ、フン・ウィーキアット・デリック《イート、プレイ、バード》2015／4分28秒
□チョウ・チィン《ザ・ネイバー》2016／6分7秒
□ナイン・モンキーズ・ワークショップ《リセトルメント・メモリー》2016／6分37秒
□岡崎恵理《FEED》2016／7分30秒
□カン・ミンジ《ビフォー・アフター》2016／7分54秒
□コロリー《アドベンチャー・オブ・エッグ・ライム・アンド・チリ》2016／3分15秒
□木下絵李《アンケート》2016／8分58秒
□キム・ソンミン《グリーン・ライト》2016／14分59秒
■姫田真武《ようこそぼくです4～ようこそぼくですってなんですか？～》2016／10分50 秒
【リンク：TBS/DigiCon6 ASIA】

●Q&A付上映回あり。

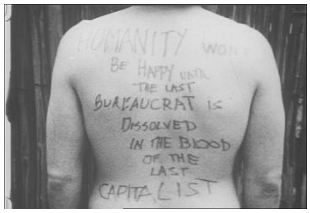
※各図版キャプションは■印の通り

上映｜東京都写真美術館｜1階ホール

10　イヴォンヌ・レイナー《特権》[16ミリフィルム上映]
■イヴォンヌ・レイナー《特権》
1990／103分／英語（日本語字幕付）
協力：山形国際ドキュメンタリー映画祭事務局

10

11　ロバート・クレーマー《アイス》[16ミリフィルム上映]
■ロバート・クレーマー《アイス》
1969／132分／英語（日本語字幕付）



11

12　<u>スペシャル上映</u>
《バンコクナイツ》スペシャル上映＆トーク　●
■富田克也《バンコクナイツ》
2016／182分／日本語、タイ語、イサーン語、英語、ラオス語、タガログ語、フランス語（日本語字幕付）
—
日時：平成29(2017)年2月11日（土・祝）16:00–

映像制作集団・空族の新作長編映画《バンコクナイツ》の
スペシャル上映後に、トークを行います。
ゲスト：富田克也（監督、脚本）、相澤虎之助（脚本）

12

●Q&A付上映。

※各図版キャプションは■印の通り

展示｜日仏会館ギャラリー

空族＋スタジオ石＋YCAM
《潜行一千里》 2016／43分（ループ上映）

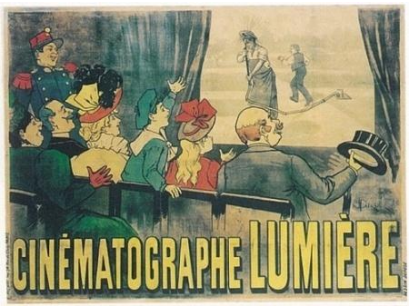
13

共同開発：YCAM InterLab
制作：山口情報芸術センター［YCAM］
※東京都写真美術館で2月11日（土・祝）に《バンコクナイツ》スペシャル上映＆トークあり。

●日仏会館ギャラリーでは、空族の新作映画《バンコクナイツ》をもとに、山口情報芸術センターで制作されたインスタレーションのYEBIZO特別ヴァージョンを展開します。

シンポジウム｜日仏会館ホール

E.［日仏会館共催企画］シネマトグラフ日本伝来
——稲畑勝太郎とリュミエール



14

日時：平成29(2017)年2月17日（金）18:30－20:30
パネリスト：小松弘（早稲田大学文学部教授）／岡田秀則（東京国立近代美術館フィルムセンター主任研究員）／上田学（日本大学他非常勤講師）　モデレーター：遠藤みゆき（恵比寿映像祭アシスタント・キュレーター、東京都写真美術館学芸員）
司会：岡 眞理子（青山学院大学、日仏会館常務理事）

M.オゾール「シネマトグラフ・リュミエール」ポスター、1895年以降　東京都写真美術館蔵

オフサイト展示｜恵比寿ガーデンプレイス センター広場

金氏徹平
KANEUJI Teppei
《White Discharge（公園）》

15
金氏徹平《White Discharge（公園）》（オフサイト展示に向けた新作のイメージ）2016

ライヴ・イヴェント｜ザ・ガーデンルーム

I. YEBIZOナイツ ｜
Side A：マルチプル／アナログ

日時：平成29(2017)年2月24日（金）
18:30－20:30（開場 18:00）

出演：リン・ルー（アーティスト、BFIフィルム・コンサヴェーション・スペシャリスト）、入手杏奈（ダンサー、振付家）、恩田晃（作曲家、パフォーマー）

16
恩田晃パフォーマンスより
Photo: Eduardo Magalhães (I Hate Flash)

II. YEBIZOナイツ｜
Side B：マルチプル／キカイ

日時：平成29(2017)年2月25日（土）
18:30－20:30（開場 18:00）

出演：恩田晃（作曲家、パフォーマー）、山崎広太（ダンサー、振付家）、宇治野宗輝（アーティスト）

17
©UJINO 2016 Photo: Yanagihara Photo Office
Courtesy of YAMAMOTO GENDAI

シンポジウム｜東京都写真美術館｜1階ホール

A.「マルチプルな未来」へ
Part 1：芸術とスペキュラティヴ・コモンズ

日時：平成29(2017)年2月18日（土）15:30－17:30

パネリスト：コルネリア・ゾルフランク（展示出品作家）／久保田晃弘（多摩美術大学情報デザイン学科メディア芸術コース教授）／八田真行（駿河台大学経済経営学部専任講師、国際大学GLOCOM 客員研究員）
モデレーター：多田かおり（恵比寿映像祭キュレーター）
＊日英同時通訳付

18

コルネリア・ゾルフランク《持たないものを与えること》（展示風景、ヴュルテンベルギッシャー芸術協会、シュトゥットガルト）2014

B.「マルチプルな未来」へ
Part 2：マージナルな映像アーカイヴィングの可能性

日時：平成29(2017)年2月18日（土）18:30－20:30

パネリスト：松山ひとみ（東京国立近代美術館フィルムセンター B.D.C.プロジェクト特定研究員）／真喜屋力（シネマ沖縄、沖縄アーカイブ研研究所）／三好大輔（アルプス・ピクチャーズ、あづみのフィルムアーカイブ代表）　モデレーター：森宗厚子（恵比寿映像祭プログラマー）

19

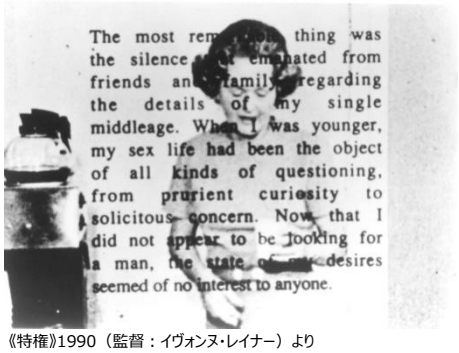
三好大輔《蘇る安曇野》2016

レクチャー｜東京都写真美術館｜1階スタジオ

C.イヴォンヌ・レイナーをめぐって
――ポストモダンダンスと映像の間

日時：平成29(2017)年2月19日（日）15:30－17:30

パネリスト：松井みどり（美術評論家）／外山紀久子（ダンス評論家）／武藤大祐（ダンス評論家）　モデレーター：田坂博子（恵比寿映像祭キュレーター、東京都写真美術館学芸員）



20

《特権》1990（監督：イヴォンヌ・レイナー）より

D.スーザン・ソンタグ
――その思考と生き方に学ぶ

日時：平成29(2017)年2月26日（日）15:30－17:30

パネリスト：新田啓子（立教大学教授）／菅野優香（同志社大学准教授）
モデレーター：岡村恵子（恵比寿映像祭ディレクター、東京都写真美術館学芸員）

21

《スーザン・ソンタグについて》2014（監督：ナンシー・D・ケイツ）より

ラウンジトーク｜東京都写真美術館｜2階ロビー

a. レイ・レイ（展示出品作家）
平成29(2017)年2月10日（金）13:45-14:45

b. 豊嶋康子（展示出品作家）
平成29(2017)年2月11日（土・祝）13:45-14:45

c. ロバート・ノース＆アントワネット・デ・ヨング（展示出品作家）
平成29(2017)年2月12日（日）13:45-14:45

d.［地域連携プログラム LIBRAIRIE6］
荒木博志、岡田邦雄、佐々木聖
平成29(2017)年2月14日（火）17:00-18:00

e. 崟利子（展示出品作家）
平成29(2017)年2月19日（日）13:45-14:45

f. 金氏徹平（展示出品作家）
木ノ下智恵子（キュレーター）
平成29(2017)年2月21日（火）17:00-18:00

g. 澤田知子（展示出品作家）
平成29(2017)年2月24日（金）13:45-14:45

h. 森村泰昌（展示出品作家）
平成29(2017)年2月25日（土）13:45-14:45

i. 石川卓磨（展示出品作家）
平成29(2017)年2月26日（日）13:45-14:45

第４回恵比寿映像祭「映像のフィジカル」ラウンジトークの様子より
© Tokyo Photographic Art Museum　撮影：新井孝明

ガイドツアー

［参加方法］
・参加無料／定員15名／整理券配布（ガイドツアー実施日の午前10時から東京都写真美術館1階受付にて当日分を配布）
・開始時間の5分前までに、東京都写真美術館1階受付前にお越しください。

※最新情報は公式ウェブサイトをご覧ください。｜※ツアー①②③は日本語、ツアー④は英語で実施いたします。

①フェスティヴァル会場・オールアラウンドガイドツアー　―YEBIZOの全体像を掴もう［90分］
［会場］東京都写真美術館全フロア→センター広場→日仏会館ギャラリー
フェスティヴァル全体を巡って、様々な作品を通じて浮かび上がるテーマ解釈について、俯瞰視点でガイドいたします。
●平成29(2017)年2月18日（土）11:00-12:30　●平成29(2017)年2月26日（日）11:00-12:30

②オフサイト展示・ガイドツアー　―金氏徹平の新作に視る“マルチプル”とは？［30分］
［会場］センター広場
恵比寿ガーデンプレイスのセンター広場に展示される金氏徹平の新作について、作品のコンセプトや背景、新しい視点での解釈をご紹介いたします。
●平成29(2017)年2月11日（土・祝）13:00-13:30　●平成29(2017)年2月25日（土）13:00-13:30

③TOPメイン会場・ガイドツアー　―東京都写真美術館会場巡りで、じっくりテーマを掘り下げる［60分］
［会場］東京都写真美術館全フロア
リニューアルした東京都写真美術館会場の作品解説に特化したツアーです。平日夜の時間帯に開催しますので、仕事帰りにもご参加いただけます。
●平成29(2017)年2月16日（木）19:00-20:00　●平成29(2017)年2月23日（木）19:00-20:00

④TOP Museum Guided Tour: English Version［60 min.］※③を英語で案内するツアーです。
Site: Tokyo Photographic Art Museum, All Floors
A comprehensive course covering the entirety of the recently-refurbished Tokyo Photographic Art Museum. Recommended for festival-goers who are keen to concentrate on the festival's main venue.
● 2017.2.19 Sun. 11:00-12:00　●2017.2.22 Wed. 19:00-20:00

地域連携プログラム｜恵比寿周辺文化施設およびギャラリー

地域連携プログラムは、恵比寿映像祭と地域の文化施設およびネットワークが連携して共催関係で実現するものです。恵比寿映像祭のテーマを共有した、多彩な企画を実施いたします。恵比寿という地域がアートを更に活性化させていくことを目的としています。

公益財団法人日仏会館（TMF日仏メディア交流協会）
映像と講演
アニエス・ヴァルダ《ジャック・ドゥミの少年期》

YEBISU GARDEN CINEMA
たかが世界の終わり

伊東建築塾
ル・コルビュジエの家

MA2Gallery
松原健「放鳥」

Gallery工房親
百瀬陽子「いとしのサハー」

MuCuL studio
ヒグマ春夫「お面・Omen――次元のペルソナ」

NADiff a/p/a/r/t
写真分離派展 vol.4（仮）

G/P gallery
小山泰介個展「Generated X」

MEM
Melting Point 2
伊東宣明、稲垣智子、大崎のぶゆき、小泉明郎、松井智惠

statements
ポール・シャリッツ展「The doors of perception」

WAITINGROOM
柴田祐輔個展

AIT
「シネマティック・プリズム」
――AITレジデント・アーティスト、キュレーターによる映像作品上映会

AL（TRAUMARIS）
The Reading――三田村光土里　尾角典子

LIBRAIRIE6
荒木博志「ECSTATIC MECHANISM 2017」

定員制プログラムのチケット情報について

上映、ライヴ、レクチャーなど定員制のプログラムについては、前売券をチケットぴあで発売します。
［一般発売：平成29(2017)年1月7日(土)午前10時］

※ご購入の際には、6ケタのPコードが必要になります。各プログラムの日時は、タイムテーブルをご確認ください。
※当日券は各日午前10時より先着順で販売します。(展示関連パフォーマンス／上映／スペシャル上映／シンポジウム／レクチャー／ライヴ・イヴェントは東京都写真美術館1階総合受付、日仏会館シンポジウムは日仏会館1階ホール受付にて)
※前売券は、各プログラム開催前日の正午まで販売します。
※未就学児の入場はご遠慮ください。

前売券 購入方法｜チケットぴあ
(1)インターネット:〈http://w.pia.jp/t/yebizo/〉※PC・モバイル共通 (2)電話予約: 0570(02)9999
(3)お近くの店頭直接申込み:〈チケットぴあ、セブン・イレブン、サークルK・サンクス〉
※購入方法によってチケット代金以外に別途手数料がかかることがございます。詳細はチケットぴあのウェブサイトをご参照ください。

発売座種｜ ［入場整理番号付／各回定員入替制］

- **●展示関連パフォーマンス**(東京都写真美術館3階展示室内／スタンディング／定員30名) 【Pコード: 763-239】
  笹本晃「デリケート・サイクル」 ￥350(前売) ￥600(当日)
- **●上映** (東京都写真美術館1階ホール／自由席／定員190名) 【Pコード: 763-237】
  1回券(日時指定) ￥500(前売) ￥1,000(当日)
- **●スペシャル上映**(東京都写真美術館1階ホール／自由席／定員190名) 【Pコード: 763-238】
  《バンコクナイツ》スペシャル上映＆トーク ￥1,800(前売) ￥2,300(当日)
- **●シンポジウム**(東京都写真美術館1階ホール／自由席／定員190名) 【Pコード: 763-240】
  A.「マルチプルな未来」へPart 1 :芸術とスペキュラティヴ・コモンズ 各回 ￥350(前売) ￥600(当日)
  B.「マルチプルな未来」へPart 2 :マージナルな映像アーカイヴィングの可能性
- **●レクチャー**(東京都写真美術館1階スタジオ／自由席／定員70名) 【Pコード: 763-241】
  C.イヴォンヌ・レイナーをめぐって――ポストモダンダンスと映像の間 各回 ￥350(前売) ￥600(当日)
  D.スーザン・ソンタグ――その思考と生き方に学ぶ
- **●日仏会館シンポジウム**(日仏会館ホール／自由席／定員150名) 【Pコード: 763-242】
  E.[日仏会館共催企画]シネマトグラフ日本伝来――稲畑勝太郎とリュミエール ￥350(前売) ￥600(当日)
- **●ライヴ・イヴェント**(ザ・ガーデンルーム／自由席／定員150名) 【Pコード: 763-243】
  Ⅰ.YEBIZOナイツ｜Side A:マルチプル／アナログ 各回 ￥1,500(前売) ￥2,000(当日)
  Ⅱ.YEBIZOナイツ｜Side B:マルチプル／キカイ

プレスお問い合わせ

【恵比寿映像祭に関するお問い合わせ】 ※ 報道・媒体関係者様のお問い合わせに限らせていただきます。

恵比寿映像祭担当(東京都写真美術館):柳生(やぎゅう)、印牧(いんまき)
〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3恵比寿ガーデンプレイス内
電話:03-3280-0076／ファクス:03-3280-0033／E-mail:yebizo_press@topmuseum.jp

【プレスリリース／広報用画像／ご取材に関するお問い合わせ】

恵比寿映像祭プレス担当:平(たいら)、大西(おおにし)
電話:090-1149-1111(平)、090-9621-5235 (大西) ／ファクス:03-3468-8367／
E-mail: info@tmpress.jp

※ 本リリース内で使用している写真を広報用画像としてご用意しております。
ご希望のプレスの方は、①ご希望画像の作品名 ②貴媒体名 ③掲載予定時期
を表記のうえ、上記のプレス担当者までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

※ 追加情報などは、恵比寿映像祭公式ウェブサイト(www.yebizo.com) で随時お知らせしてまいります。

※出品作品および出品作家など内容については、変更する場合があります。予めご了承ください。